

まちづくり交付金 事後評価シート
静岡都心地区

平成20年12月

静岡県静岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	静岡都心地区			面積	210ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年4～12月		交付対象事業費	2,039.5百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	駿府公園整備事業、静岡都心地区地域生活基盤施設整備事業、静岡駅北口駅前広場及び地下道高質空間形成施設整備事業										
		提案事業	静岡駅北口駅前広場関連事業、公共サイン計画策定調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	静岡都心地区公営住宅整備事業										
		提案事業	なし										
新たに追加した事業	基幹事業	紺屋町地下道整備事業											
	提案事業	駿府公園整備関連事業・樹木移植等を実施するため、追加 ・商店街環境整備事業：商店街によるアーケード整備が早期事業化したため追加 ・紺屋町地下道解体工事：既存地下道解体工事を実施するため追加											
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—					
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	指標1	まち全体の活力向上	人	489,000	H15	452,000	H20	431,325	475,000	○	あり	中心商店街の活力が減少する中、歩行空間の整備などの本計画の効果や関連事業による道路整備の他、民間商業施設の進出など複合的な要因により、予想値よりも減少幅を緩やかとすることに成功した。	H23.8
	指標2	来街者の満足度アップ	%	20	H12	40	H20	88	88	○	あり	紺屋町地下道整備や情報提供設備の設置など、多くの利用者の目に触れ、かつ利用機会が多い地点での整備が中心であったため、目標値を次々く回る満足度を得ることができた。	H23.8
	指標3	駿府城のおもかげが感じられる効果アップ	%	64	H17	70	H20	67	67	△	あり	駿府公園は市の歴史文化を象徴する施設であり、もともと歴史文化に対する市民意識が高い土地柄であると言われていることから、市民の意向に少なからず沿った事業内容であったと考えられる。これらの背景から、現計画で実施した事業の内容が市民の意向を反映したものであったことが、「駿府城のおもかげを感じられる」市民の割合が向上した要因と考えられる。	H23.8
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	その他の数値指標1	中心商店街3時間以上滞在割合	%	37	H15				40			現計画の事業(関連事業含む)に加え、民間商業施設の進出などにより、地区内に魅力的な集客拠点が増えたことに起因すると考えられる	H23.8
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 本計画の履行に伴う複合的な事業の実施により、市内の構造的な検討、調整が継続して実施され、連携体制が計画の履行前に比べ緊密になった。 市民(利用者)の意向聴取及び情報提供において、担当部局との連携を図る機会が増加したことにより、地区のまちづくりの方向性に関するコンセンサスが形成された。 												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	交付期間中(事後評価前年度)におけるモニタリングの実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング調査については今後も継続して実施する。 次期計画においては実施事業と目標指標の関連性について精度を高めるとともに、市民参加型モニタリング調査の中間年次での実施を検討し、計画の方向性に関する確認体制の強化を行う。 モニタリング結果及び本事後評価結果を踏まえ、次期都市再生整備計画の策定を行う。 	
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
住民参加プロセス	静岡都心地区まちづくりワークショップの開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの中で得た、地区の課題・目標・将来像などに関する意見を次期計画に反映する。 静岡都心地区のまちづくりにおける主体性の向上を図るため、継続的に市民参加が可能な体制の構築に向けた検討を行う。 		
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築	市民ワークショップの開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	「住民参加プロセス」のワークショップと同様		
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

静岡都心地区(静岡県静岡市) まちづくり交付金の成果概要							
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値	
住むひと、訪れるひとにやさしく個性豊かな都心づくり ・県都に相応しい玄関口の整備による交通機能強化、改善による利便性の向上 ・賑わい創出によるまち全体の活力向上		まち全体の活力向上		単位: 人	489,000 H15	475,000 H20	
		歴史的資源を活かした魅力的な都市空間の整備による憩いの場の創出		単位: %	20 H12	40 H20	88 H20
		幅広い世代に対応したやさしい住環境をつくる		単位: %	64 H17	70 H20	67 H20
■(地域生活基盤施設) 静岡都心公共サイン設置事業 		■(公園事業) 駿府公園整備事業(第4工区) ・内堀広場、主園路外 		□(地域創造支援事業) 樹木移植・埋蔵文化財発掘調査		□(地域創造支援事業) 御幸町伝馬町第1地区 市街地再開発事業	
□(事業活用調査) 静岡都心公共サイン計画策定調査		○関連事業 特定交通安全施設整備		○関連事業 特定交通安全施設整備		○関連事業 御幸町伝馬町第1地区 市街地再開発事業	
□(地域創造支援事業) 商店街環境整備事業		○関連事業 静岡駅前紺屋町地区 市街地再開発事業		○関連事業 静岡駅前紺屋町地区 市街地再開発事業		○関連事業 静岡駅前紺屋町地区 市街地再開発事業	
■(道路事業) 紺屋町地下道整備事業		○関連事業 静岡駅前紺屋町地区 市街地再開発事業		○関連事業 静岡駅前紺屋町地区 市街地再開発事業		○関連事業 静岡駅前紺屋町地区 市街地再開発事業	
■(地域生活基盤施設) 静岡駅北口地下広場情報提供施設整備事業 		□(地域創造支援事業) 紺屋町地下道解体工事		□(地域創造支援事業) 紺屋町地下道解体工事		■(高質空間形成施設) 静岡駅地下道・北口駅前広場整備事業 ・修景施設、モニュメント、植栽、地下道整備等 	
□(地域創造支援事業) 階段設置工(静岡駅北口広場)		○関連事業 交通結接点改善事業		○関連事業 交通結接点改善事業		○関連事業 交通結接点改善事業	
まちの課題の変化		・地下道のリニューアルや公共サインの設置など、駅前を中心とした公共施設の改善により、歩行空間の快適性向上が達成できた ・現計画との関連はないが、民間事業者による大規模商業施設が進出し、商業面での魅力ある拠点施設が集中する地区となった ・駿府公園の整備により、本地区の歴史・文化を代表する拠点整備が進められた ・静岡駅北口広場の改善により、県中枢部に相応しい風格を有する駅前空間の形成が達成できた					
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		・本地区の代表的な歴史、文化資源である駿府公園の整備を継続するほか、歴史・文化資源の所蔵施設の建設などにより更なる歴史・文化資源の活用を図り、地区の個性、特色を活かした拠点を形成する。 ・歴史・文化資源以外の「静岡らしさ」について、市民を交えた検討を行うとともに、ソフト事業を中心としたまちづくり活動を継続して実施する。 ・歩行空間の快適性向上について、駅前空間を中心として行ってきた整備を継続する。 ・歩行空間の快適性向上と平行して、歩車共存を目的とした交通体系の再構築に関する検討を行う。 ・また、歩行者の快適性についても通行から回遊へとシフトさせることを目的として、滞留空間の構築に向けた検討を行う。 ・市街地再開発事業(関連事業)などにより主として商業機能に関する賑わい拠点施設の形成を図ったが、今後も同様に商業拠点施設を構築する。 ・多様な来街ニーズの充足に向け、商業以外の賑わい拠点を構築する					